

質問(黒澤昭治議員)桜のテングス病枝打ちなどが行われました公園樹木の手入れについて伺います。

答弁(市長)管理公社は、公園管理の中でテングス病の枝除去高木の枝落とし、老木の伐採等を行っておりますが、一部森林組合、造園業者への委託により実施しているものもあります。なお、市の公園の中には、公園愛護会が組織され、地域で簡単な樹木の手入れ

れを行っているところもあります。公園のテングス病の除去については、平成十八年度に龍城公園、平成十九年度は黒羽城址公園本丸のほか、老木の伐採とあわせて御殿山公園、鶯谷公園等においても随時実施いたしております。黒羽城址公園の桜のテングス病枝除去については、森林組合に発注し、平成二十年二月から三月にかけて本丸周辺の百十七本の桜の枝除去を、高所作業車などを使い

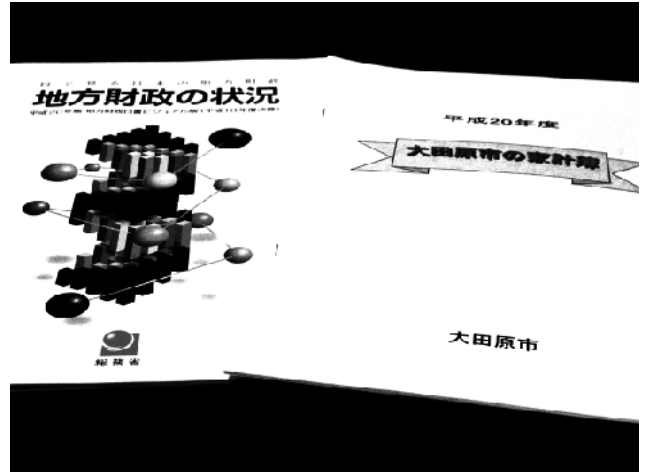
除去するとともに、切り口の薬剤塗布を行ったところであります。そのこともあり、今年桜の開花が例年より良かったとの声を耳にしております。今年度については、黒羽城址公園の本丸以外の場所と龍城公園を予定しております。その他の公園については、テングス病の発生状況を見て実施してまいりたいと思っております。桜の開花後のアメリカシロヒトリ防除については、水元児童公園、鶯谷公園、しんとみ親水公園はほぼ毎年実施をし、今年度は桜馬場公園のほか数カ所の開発区域内の都市公園を実施いたしました。

(※用語解説は十一ページ)



テングス病に感染した桜の枝

## 公園樹木の管理について



健全な財政運営に努めている

## 財政健全化計画について

質問(小野寺尚武議員)平成十九年度の財政健全化計画推進状況について伺います。

答弁(市長)平成十九年度に策定した公的資金補償金免除に係る一般会計の財政健全化計画では、財政運営における発想の転換、効果的、重点的な予算配分、財務情報共有化の三つの基本方針を掲げ健全化を進めております。このうち財政運営における発想の転換につきましては、事務事業全

般について費用対効果等の観点から見直しを行い、歳入に見合った歳出規模、歳出構造への転換を図ることとしており、本年度から実施計画査定時に財政担当職員が同席をし、アドバイス等を行っております。これにより実施計画策定の段階から市全体の事務事業の情報共有効果が得られております。平成十九年度の判断評価については、財政健全化計画の各指標などを比較しますと、財政力

指数は計画の0.776が実績でも同じく0.776、経常収支比率が計画の90.0に対して93.5、実質公債費比率は計画の13.5に対し12.1であり、地方債現在高は計画の三百六億四千三百万円に対し三百二億二千二百万円、積立金現在高は計画の五十三億五千六百万円に対し四十九億六千五百万円となっております。この結果、経常収支比率が上昇しているものの、実質公債費比率は1.4ポイント下がり、地方債現在高も計画より四億二千百万円下回っており、概ね計画どおりの達成状況であると判断しております。